

科目名		授業形態	担当教員名	
臨床心理学		講義	本多 晶子	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間 （ 2 単位）		15 回	1 年次	後期
授業の目的・概要				
臨床心理学は、人間のライフスタイルを通じて生じる種々の心理的な問題にどのように対処するかを様々な視点から研究し、それを実践する学問である。対人援助専門職として従事するには、臨床心理学の基本的な知識が不可欠である。心理的な問題を理解する枠組みとなる精神医学を含む理論とその介入の方法について学ぶ。				
授業の到達目標				
臨床心理学の基礎的な理論や技術を理解できる。 実習や練習問題を行い、自分や他者、対人援助について考えることができる。				
授業計画				
回	内容			
1	1 臨床心理学とは(オリエンテーション)			
2	2 理論と介入技法（1）精神分析と関連諸理論・技法			
3	2 理論と介入技法（2）クライエント中心療法と関連諸理論・技法①			
4	2 理論と介入技法（3）クライエント中心療法と関連諸理論・技法②～カウンセリングの実際			
5	2 理論と介入技法(4)行動療法～レスポナント・オペラント条件付け他関係諸理論・技法			
6	2 理論と介入技法(5)認知行動療法と関連諸理論・技法～認知行動療法・論理療法・自己主張トレーニング・SST・心理教育			
7	2 理論と介入技法（6）家族療法の技法と実際			
8	2 理論と介入技法（7）その他の理論～内観療法、森田療法、動作療法、危機介入他			
9	3 異常心理学（1）診断分類基準としてのDSM-5とICD10・神経発達症・統合失調症			
10	3 異常心理学（2）双極性障害・抑うつ障害・不安障害・強迫症・心的外傷およびストレス因関連障害			
11	3 異常心理学（3）解離症・身体症状症・摂食障害・人格障害他			
12	4 心理査定（1）面接法・観察法・心理検査法（質問紙法）			
13	4 心理査定（2）心理検査法（投影法）			
14	4 心理査定（3）心理検査法（知能検査法、作業検査法）			
15	5 発達についての理論と各ライフサイクルで生じる心理的問題～乳幼児期～老年期			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験	70%	理論や技法の理解・用語の理解		
レポート・課題	30%	各講義の後に提出		
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名		著者・編集者名	出版社名	
よくわかる臨床心理学 改訂新版		下山晴彦 編	ミネルヴァ書房	
自由記載				
参考文献				
書名		著者・編集者名	出版社名	
自由記載				
備考				